



長野市民病院  
Nagano Municipal Hospital

長野市民病院広報誌

## 第21号

平成18年 9月 15日

# あした元気になあれ

## 長野市民病院の理念

1. 命のいとおしさを大切に、人間味あふれる医療を提供します
2. 医療水準の向上に努め、高度で良質、安全な医療を提供します
3. 個人の人権と意思を尊重し、情報の開示、説明と同意を基本とする医療を提供します
4. 地域の保健、医療、福祉機関等との機能分担に配慮し、円滑な連携を図ります



突然の心停止をきたした傷病者には、そこに居合わせた方が心肺蘇生法をただちに実施し、速やかにAEDを行えば、助かる可能性が高く、有効的なことから、一般の方誰でもが対応出来ることが必要です。

今回、救急の日（九月九日）に併せて、九月六日（水）と八日（金）の二日間、一般市民の方を対象に救急医療に対する正しい理解と認識を深めるイベントとして、「あなたも救える突然死」をテーマに信州大学医学部附属病院救急救命センター講師の岩下医師と当院脳神経外科徳重医師が講師となり、AEDの訓練器を使い、その使用方法等について実際に一般市民の方に体験していただきました。

実際に体験された方からは、「大変貴重な経験であった」との意見も寄せられ、今後とも地域の中核病院として、一般市民の方に救急医療の重要性を深める活動を引き続き行っていく必要性を感じさせられました。

今後、公共の場所に多くのAEDが設置され、心肺蘇生法とAEDの使用方法を学んだ市民の方が増えることが理想です。AEDの講習は、医師会や消防署、日本赤十字社等でも受けられます。

# 第四十三回日本消化器病学会 甲信越支部 市民公開講座

## （）若里市民文化ホールにて開催（）

去る、九月二日（土）若里市民文化ホールにて、第四十三回日本消化器病学会甲信越支部市民公開講座を開催しました。

今回は、日本消化器病学会甲信越支部と当院との共催で、「ここまで進歩した胃がん、大腸がんの最新治療」をスローガンに市民公開講座を開催したところ、当日は、晴天にも恵まれ、二三三名の方にご参加をいたしました。

内容としては、講演会三部及び健康相談、血圧・体脂肪測定を行いました。講演会は、午後一時三十分から東口病院の永井規敬先生司会の下、一時間ずつ三名の医師による講演が行われました。

第一部では、「内視鏡治療」と題して、当院消化器科統轄科長の長谷部修医師の講演があり、当院における過去十年間の内視鏡治療の成果を振り返り、どのようにがんをどのように内視鏡治療するのか最新の技術を紹介しながらわかりやすく解説さ

れ、また一番大切なのがんの早期発見における内視鏡検査の役割についての説明もありました。

第二部では、「腹腔鏡治療と開腹手術」と題して、当院診療部長兼外科統轄科長の宗像康博医師の講演があり、腹腔鏡手術白体の説明と、この十年間における胃がん、大腸がんにおける腹腔鏡手術の飛躍的進歩によって、傷や痛みが少なく、入院期間も短く、患者さまにやさしい治療法であることを解説されました。

また、腹腔鏡手術は、まだ始まって十年余の新しい治療法ですが、胃がんや大腸がんに対する腹腔鏡手術の手術数や経験が県内では当院が突出して多いことが特徴であり、今後は腹腔鏡下手術の重要性があります。第三部では、「抗がん剤治療」と題して、佐久総合病院内科医長の宮田佳典先生の講演があり、「抗がん剤」とは「化学療法」において使われる薬であることをまず説明され、昔は、怖い、辛い、効かないという



パネル展示



血圧・体脂肪測定



健康相談

## 公開講座 来場者の声

なかつたことも多く驚きました。

○がんについての認識が深まりました。

○本日のような情報を全市民に届くような工夫をしていただけでもつとすばらしいものになると思いました。

○ここまで進歩したがんの最新治療が身近で行われていることに驚きました。

○プロジェクト

○プロジェクターを使用して、実際に映像を見ての説明は、わかりやすくとても良かった。

○最先端の医学の進歩に驚きと期待を感じました。

○専門的な話ではあつたが、一般市民にもわかり易かつた。

○手話通訳を用意されたのは良かったと思います。お心遣いに感謝します。

○腹腔鏡手術による治療には、知ら

考になりました。

これからも開催して欲しいという意見を多くいただきました。

貴重なご意見ありがとうございます。

## パツチワークを寄贈いただきました

去る、九月一日（金）、古牧公民館

長の月岡利久様とパツチワークキルト講師の北村明子様が、当院の病院長室を訪ねられ、古牧・芹田・大豆島公民館の長野市成人学校パツチワーク講座受講生の皆さまが作成されたパツチワークを寄贈していただきました。

この作品は講師の北村明子様の指導で作成されたものであり、多くの受講生の皆さまの気持ちが込められたすばらしい作品でありますので、病院としても大切に飾らせていただきたいと思います。



講師の長谷部先生



長田病院長あいさつ



講師の宮田先生



講師の宗像先生

この作品は講師の北村明子様の指導で作成されたものであり、多くの受講生の皆さまの気持ちが込められたすばらしい作品でありますので、病院としても大切に飾らせていただきたいと思います。





「テレビゲーム」という言葉が子どもたちの体や心に与える影響が、科学的に解明されつつあります。昨年この地域の複数の小学校で、ゲームの実態調査が行われました。それをまとめると、週に三日以上ゲームをする子供が六割、ほぼ毎日が四割、そのうち九割の子供が、一回に一時間以上ゲームをしていました。

脳神経学者の森昭雄教授は著書「ゲーム脳の恐怖」の中で、テレビゲームを週四～六回、一回二～七時間している子供は、ゲームをしていないときにも脳は働かず、計測できないほど脳波が低下していることを報告しました。こうした子供は、若者でもありながらも、認知障害の老人と同じ脳波だ。

「立てば漫画、座ればテレビ、歩く姿は多田  
塾通い。」これは、おもちゃや美術館館長の  
多田先生の言葉ですが、現代の子どもはこの  
三つに生活の大部分を委ねています。しかも、  
テレビ番組を見るだけでなく、ゲームをする  
ためにテレビ画面の前にいるのです。

# 「テレビゲームと子供の心」

小兒科科長 池野一秀

の著書『脳内  
時期に親の愛  
、ゲーム漬け  
ゲーム時間が  
関心の傾向が  
強いそうで  
す。その結  
果、ゲーム  
依存症にな  
つてはそ

その結果、言葉で自分の気持を伝えたり、言葉でじっくりと考えたりする能力が育たず、感情の分化発達もしないので、心の発達が六、八歳のレベルでとまり、人格形成に大きなゆがみが生じています。心の発達とは、実は脳の発達です。健康な心は、自然と、友達と、家族と触れ合うことで発達していくのです。

か 科学的に解明されつつあります  
昨年この地域の複数の小学校で、ゲームの実態調査が行われました。それをまとめると、週に三日以上ゲームをする子供が六割、ほぼ毎日が四割、そのうち九割の子供が、一回に一時間以上ゲームをしていまし

えす強い興奮を求めていには「一惚  
えつきて」しまうのです。また、こ  
うした子どもは自由時間の大半を、  
一人でテレビを見たりゲームをした  
りしています。

精神科医岡田尊司氏の著書『脳内汚染』によると、幼い時期に親の愛情不足があつた子ほど、ゲーム漬けの傾向が強く、一日のゲーム時間が長いほど、無気力、無関心の傾向が強い。その結果、無気力、無表情、自分勝手、キレる、ムカつく、人と話をするのが面倒、物忘れが激しいなどの特徴があります。

つたのです。これは、ゲームを繰り返すことにより、思考や感情を司る大脑の前頭前野が使われず、視覚野と運動野が直接回路でつながつてしまふために起こると言われています。前頭前野は思考を司るのと同時に動物的な激情を抑え、人間的な理性をコントロールする役割も持っています。前頭前野が退化した「ゲーム脳人間タイプ」の若者の多くは、記憶力が非常こ乏しく、kinやすい、

# みなさまの 声

市民病院では、開院以来、外  
来・入院の患者さま、お見舞い等  
の皆さまから様々ご意見ご要望  
をいただいております。

毎月、貴重な意見を集約して職員に回覧。できるところから改善、検討を加えております。最近お寄せいただいたものの中から選んで紹介します。今後とも叱咤激励をお願いします。

院内又は科内に一台パソコンがあつて、インターネットサー  
ビス等ができる環境であるとありがたい。

◆回答

インターネットの利用については多くのご要望をいただいており、現状では設備面やセキュリティ上の課題があり実施に至っていませんが、平成二十年度を目途に増床を予定しております、その中で「図書・情報コーナー」を設置し、患者様やお見舞いの方などに広くご利用いただけるよう計画しておりますのでご理解願います。

(男性、外来患者)

●回答

院中に不便なことがありまし  
た。可をやるこもテノゾカリ

**入**院中に不便なことがあります。た。何をやるにもテレビカー  
ドが必要ですが、キヤッショコーナーは平日しか動いていないので、家

状を伺う時、検査説明の時には、待合席でよいかどうかの確認を取らせていよいよ、ごみ袋を提出する

# 職員短信



## 長野びんずるに 約九十名が参加

八月に入つてやつと夏らしい暑さが訪れた今年も、恒例の市民祭「長野びんずる」が八月五日、中央通り一帯で開催されました。長野びんずるも数えて三十六回目を迎え、当市民病院からは新人看護師、研修医、長田病院長、竹前副院長など、幹部職員を含めて約九十名が参加。



今回の訪問看護車両の寄贈は、長野ライオンズクラブ四十五周年の記念事業の一環として行われたもので、年々当院の訪問看護のニーズが増加するなか、職員も増員し対応しているため、訪問看護車両が不足していた状況での寄贈はたいへんありがたく、長野ライオンズクラブ様には深く感謝申し上げるとともに、大切に使わせていただきたいと思います。

長野ライオンズクラブ様から当院へ訪問看護車両を寄贈いただき、そにて執り行われました。当日の贈呈式には、長野ライオンズクラブの橋本会長様をはじめライオンズクラブの関係者、長田病院長をはじめとする病院職員、市役所の市民病院課職員が出席して行われました。

## 長野ライオンズクラブより 当院へ訪問看護車両寄贈

族に千円札を届けてもらいました。館内に一ヶ所でもいいので両替機を設置してほしい。

近くになりましたら、番号が見える場所までお手数でも移動していただくことも併せてお願ひします。

### ◆回答

大変ご不便をおかけしました。両替機の設置につきましては、他の医療施設の状況を調査する等して、当院としましてもこれまで何度も度か検討してまいりましたが、両替金の盗難のリスクがあり、現状は設置を見送らせていただいておりますのでご理解願います。

### 受

診番号表示用のボードを見ていたが、見えにくくて結局、診察室から医師の呼び出しと看護師からの指示でようやく受診できました。ボードの表示をもう少し見やすくしてほしい。

(女性、外来患者)

### ◆回答

案内表示装置は設置スペースがないことと費用が高額なため、整形外科と脳神経外科の二科の案内を一台で画面切り替えにより表示しています。診察が近くなった予約患者様の受付番号を五人分表示しているため後方の方は見えにくい場合があります。このようなことから、番号表示中方で中待ちにおられない場合は、併せてお名前をお呼びしていま

院 内では携帯電話の使用が禁止されており、ラウンジの一角に携帯専用コーナーが設けられています。同室の入院患者が病床の上で何度もメールを打ち、電話をしているところを目撃しました。

### ◆回答

携帯電話については、入院時に必ずご案内しておりますが、十分でなく反省しております。各病棟でも徹底するようにいたします。

(女性、お見舞い者)



「当院小児科池野科長イラスト」紹介

# 表参道内科クリニック

院長・医学博士 稲田浩之 医師  
(長野市東後町21番地  
グランドハイツ表参道式番館108号)

院長の稲田先生は長野市内のご出身であり、北里大学をご卒業後、信州大学第二内科へ入局。以後、昭和伊南総合病院、諏訪赤十字病院等県内の主要病院及び先生の叔父様が麻績村で開業されている山村にある診療所でも医師としてご活躍され、その後長野市内にあるNTT東日本長野病院、東和田病院等に勤務された後、本年6月に現在地に開業されました。(病院の名称は入居しているマンションから名付けたそうです。)

先生の専門は、消化器科(特に肝臓病)であり、当院の長田病院長を始め、消化器科の医師とも、過去に他病院で一緒に勤務した経験があるそうです。

また、麻績村の診療所勤務時代には、1日80人位の患者さまが来られ、内科に限らず様々な症状の患者さまを診察した経験が、現在の診療にも非常に役に立っているそうです。

医師になったきっかけは、祖父が医師であり、親族にも医師が多く、医師という仕事に自然に興味を持たれたそうです。

先生の趣味は、ここ数年は忙しくなかなか出来ないそうですが、大学時代から行っているダイビングであり、一時は人を指導されるほど夢中になられていたそうです。

クリニックの特徴として、新しく新鮮なクリニックとしてだけではなく、非常に検査機器等の充実が図られているため、検査によっては総合病院より優れた機器を設置されているなど、診療体制が整っています。そして何より先生の温かい人柄とスタッフの皆さまの明るい応対が好印象でした。



登録医制度による地域医療連携システムが平成十五年四月にスタートしてから市民病院へ紹介したり、市民病院から地域の診療所に逆紹介したりするケースが増えています。なお、登録医の一覧が玄関に掲示されていますので、ご覧下さい。この欄では、順次登録医の医師を紹介してまいります。

登  
錄  
医  
紹  
介

No. 7

職  
場  
紹  
介

## 手術室

平成七年六月に手術室五部屋、麻酔医一名、看護師十一名、看護助手一名でスタートしましたが、平成十二年には、手術室は七部屋となり、スタッフも麻酔医四名、看護スタッフも二十七名に増えました。手術件数も年々増加し、平成十六年より三千件を超えるました。

私たちは、「患者さまが安全に安心して手術が受けられるように」を

心頭に手術看護を行なっています。

受け持ち看護師が術前、術中、術後を通して患者さまと関わり、患者さまの個別性を考えた看護計画の立案・実施・評価をしています。患者して入室できるように受け持ち看護師が笑顔で迎えるように心がけています。

また、手術で使用する部屋や麻酔器などの手術器械、器材など細心の注意を払い準備点検をしています。手術中は麻酔医や術者と連携を行なっています。

仕事中は緊張の連続ですが、休憩室では笑いが絶えないのも手術室の特徴かもしれません。

最近は手術適応が拡大し、新しい術式や器械類も増え、高度な知識や技術が要求されます。自己研鑽の毎日ですが、無事手術が終わった時や術後訪問時患者さまから感謝の言葉を掛けて頂いた時には手術室で勤務して良かったなと思います。

手術室看護師長  
志村紀代恵



## 「第一回長野市医師会医療連携・登録医のつどい」

地域医療連携室 北澤 淳一

去る七月二十六日（水）に「第一回長野市医師会医療連携・登録医のつどい」がマルパルク長野にて開催されました。

長野市医師会内では、長野赤十字病院、長野松代総合病院、長野市民病院の三病院がそれぞれ「登録医」制度を実施しています。「登録医」とは、開放型病院である各病院の趣旨にご理解、ご賛同いただいた先生方です。

近年、医療機関同士の連携が大変重要になってきています。かかりつけ医による日頃の健康チェックにより、通常の病気の治療と病院での精査や治療を、医療機関同士が連携して「地域で一人の患者さまの健康を担保する」という考え方が定着しつつあるのです。

地域での連携を強化しスタッフ同士の親睦を深めるとともに、今後の連携のありかたを考えるために、今回の会が開かれました。

昨今医師不足が取りざたされていますが、専門医が不足してしまった時に医療機関同士が連携することで窮地を乗り切ったという事例が報告されました。また、今後各病院でどのような機器が導入されどのように

共同利用を行っていくか、救急時の医療機関の連携体制はどのようになっていくか、といった将来像が発表されました。

なお、長野市民病院の「登録医」につきましては、正面玄関を十五メートルほど入った右側の壁に、登録医の一覧を掲示しております。また、登録医一覧のチラシも用意しておりますので、ご自由にお持ちください。



(竹前副院長)



(発表：北澤事務職員)

## 緩和ケアチームの発足について

緩和ケアチーム リーダー  
麻酔科統轄科長 成田 昌広

がんの診療を受けておられる患者さまの、痛みを初めとするつらい症状を和らげたり、こころのケアを行っていく緩和ケアチームを運用する

病院が増えてきております。当院でも本年四月より医師、看護師、薬剤師、臨床心理士、ソーシャルワーカーなど構成される緩和ケアチームが発足しました。

現在は、主に当院に入院される方を対象に、主治医や病棟スタッフが行う治療やケアを補助する形で活動しています。今のところ痛みのコントロールが十分でない場合の相談がほとんどですが、担当者が病棟

でお話をうかがつたうえで、鎮痛薬の追加・変更や神経ブロックの併用などによって対処しております。また、個々の患者さまのケアの内容についても、必要に応じてメンバーが集まつて望ましい方法を検討しています。

セカンドオピニオン相談の対象となる方は、当院以外の医療機関から事前に情報提供のある方のみ相談の対象とします。  
詳しくは、当院ホームページ「セカンドオピニオン外来のごあんない」のページをご参照下さい。

## セカンドオピニオン外来のご案内

長野市民病院では、本年八月からセカンドオピニオン外来を開設しました。  
当院以外の医療機関にかられている方を対象とし、現在の診断や今後の治療方法等について当院医師が意見を提供します。その意見を参考に患者さまがより納得して現在の治療を受けられるように、あるいは十分な情報提供を受けた上で治療方法を選択できるように支援することが目的です。

入院患者さまだけでなく、外来に通院されている方も「緩和ケア」を利用していただぐことができます。  
痛み・不安・吐き気のような苦しい症状や困ったことに関して、ご相談を希望される方は、主治医までお申し出ください。ご相談の内容に応じて、ご対応させていただきます。

本紙のバックナンバーは、  
ホームページでも  
ご覧いただけます。

外来診療担当表は、9月15日現在で作成されております。担当医師が変更となっている場合もございますので、お問合せ下さい。

## 外来診療担当日一覧

平成18年9月15日現在  
長野市民病院  
○印は初診担当です

	月	火	水	木	金	専門
内科 (呼吸器科) (消化器科) (循環器科) (神経内科)	○丸山 雅史	山本 寛二	山崎 誓一	○山本 寛二	山本 寛二	長田敦夫 (消化器・肝臓・脾臓) 平井一也 (呼吸器) 長谷部修 (消化器・内視鏡) 丸山隆久 (循環器) 山本寛二 (神経内科) 越知泰英 (消化器・内視鏡) 花岡 健 (循環器) 掛川哲司 (腎臓) 吉池文明 (呼吸器) 立岩伸之 (消化器・内視鏡) 山崎誓一 (呼吸器) 児玉亮 (消化器) 丸山雅史 (消化器) 中嶋博幸 (循環器)
	○吉池 文明	吉池 文明	○越知 泰英	—	○中嶋 博幸	
	平井 一也	○山崎 誓一	平井 一也	山崎 誓一	○平井 一也	
	越知 泰英	—	○長谷部 修	○立岩 伸之	—	
	立岩 伸之	○丸山 隆久	丸山 隆久	丸山 隆久	長谷部 修	
	中嶋 博幸	○丸山 雅史	○花岡 健	吉池 文明	花岡 健	
	児玉 亮	掛川 哲司	掛川 哲司	○掛川 哲司	○児玉 亮	
膠原病外来	—	—	池田三知代	—	—	池田三知代 (膠原病)
小児科	池野 一秀 青沼(AM10時迄)	池野 一秀 三上真理子	池野 一秀 青沼架佐賀	三上真理子 青沼架佐賀	池野 一秀 青沼架佐賀	青沼架佐賀(発達・神経・循環器・心身症) 池野一秀(免疫・アレルギー)
午前 10時以降	信大医師	—	—	—	—	
午後 専門外来 (予約制)	乳児一般健康診査	小児心療内科外来 免疫・アレルギー	小児心療内科外来 免疫・アレルギー	免疫・アレルギー 循環器外来	神経外来 小児心療内科外来	三上真理子
外科 (呼吸器外科)	—	佐近 雅宏	関野 康	—	草間 啓	宗像康博 (消化器・胃大腸) 西村秀紀 (呼吸器・乳腺・甲状腺) 関 仁誌 (消化器・肝臓・胆道・脾臓) 草間 啓 (消化器) 齋藤 学 (呼吸器) 沖田浩一 (消化器) 佐近雅宏 (消化器) 関野 康 (外科)
	沖田 浩一	関 仁誌	宗像 康博	佐近 雅宏	関 仁誌	
	齋藤 学	西村 秀紀	齋藤 学	西村 秀紀	(呼吸器外科休診)	
	関野 康 (午後)	—	沖田 浩一 (午後)	—	—	
整形外科	松田 智 南澤 育雄	○藍葉宗一郎 竹山 和昭	○信大医師 竹山 和昭	○松田 智 山田 誠司 (午後)	—	松田 智 (上肢・末梢神経) 南澤育雄 (骨折・リウマチ性疾患・股膝関節) 竹山和昭 (脊椎・関節疾患)
	○藍葉宗一郎	(藤澤多佳子)	藍葉宗一郎	○藤澤多佳子	○山田 誠司	山田誠司 (関節疾患)
	○藤澤多佳子	○松田 智	○南澤 育雄	○竹山 和昭	○竹山 和昭	藍葉宗一郎 (整形外科一般) 藤澤多佳子
	○山田 誠司					
形成外科	○滝 建志 池上みのり	○信大医師 池上みのり	○滝 建志 池上みのり	○滝 建志 ○池上みのり	○滝 建志 池上みのり	
脳神経外科	○竹前 紀樹 徳重 一雄	竹前 紀樹 (頭痛外来初診日)	○竹前 紀樹	竹前 紀樹	○原 洋助	竹前紀樹(脳腫瘍・脳血管障害・頭痛) 徳重一雄(脳腫瘍・脳血管障害・頭部外傷) 原 洋助(脳神経外科一般)
皮膚科	齋木 實	齋木 實	齋木 實	齋木 實	齋木 實	
泌尿器科	岡根谷利一	上垣内崇行	岡根谷利一	中山 剛	岡根谷 / 西澤(交代)	岡根谷利一(悪性腫瘍・前立腺肥大) 西澤秀治(小兒泌尿器) 中山 剛(神経泌尿器科・前立腺肥大・尿道結石) 上垣内崇行(尿路結石・前立腺肥大)
	中山 剛	西澤 秀治	上垣内崇行	西澤 秀治	上垣内崇行	
婦人科	森 篤 ○西澤千津恵	○信大医師 —	○森 篤 西澤千津恵	○森 篤 西澤千津恵	森 篤 ○西澤千津恵	森 篤(悪性腫瘍・不妊症) 西澤千津恵(婦人科一般)
眼科	風間 淳	風間 淳 信大医師	風間 淳	風間 淳 信大医師	—	風間 淳(眼科一般)
耳鼻いんこう科	野村 康	野村 康	休 診	野村 康	野村 康	
放射線科	休 診	橋田 巖	休 診	橋田 巖	橋田 巖	橋田 巖(放射線治療)
歯科・口腔外科	○楠 公孝 田村 稔	○田村 稔 楠 公孝	○楠 公孝 田村 稔	○信大医師 —	○田村 稔 楠 公孝	田村 稔(口腔腫瘍) 楠 公孝(口腔外科)

### 長野市民病院へのお問い合わせ

〒381-8551 長野市富竹1333-1  
TEL 026-295-1199 FAX 026-295-1148  
ホームページ <http://www.hospital.nagano.nagano.jp/>

財団法人 長野市保健医療公社

**長野市民病院**

■発行人:長田敦夫  
■編集:長野市民病院  
広報誌編集委員会

\*新任・八月一日付 (伊那中央病院から)  
\*新任・七月十六日付 (信州大学医学部から)  
\*新任・七月一日付 (信州大学医学部から)  
\*退職・七月三十一日付 (飯山赤十字病院へ)  
\*退職・七月十五日付 (飯山赤十字病院へ)  
\*退職・六月三十日付 (市川市医学部へ)  
\*退職・六月三十日付 (市川市医学部へ)

医師人事異動